

2020/10/03(土) 蓼科山(亀甲池・双子池・大河原峠・将軍平周遊)

メンバー:L辻、K(非会員)

7:30 蓼科山七合目登山口駐車場は8割方埋まっていた。七合目登山口～大河原峠までの道路が去年の台風の影響で不通となっており、茅野からだとは大河原からは登れないので、七合目登山口に殺到している模様。鳥居をくぐり緩やかな登山道の先はザラした瓦礫で歩きにくい。もう50年以上も前になる中学の学校登山の思い出がよみがえってきた。(当時は登山靴ではなく、運動靴だった)おまけに帰りは雨に降られあまり楽しかったという記憶が無い。その時は多分女神茶屋からだったかと思う。

今日の登山者は家族連れも多く、学齢期前の小さな子供たちもちらほら。老弱男女皆元氣よく頑張っている。天狗の露地の分岐を過ぎると一気に急登になり将軍平に到着。あちらこちらで大勢の人が休憩をとっていた。将軍平からは一気に岩場となり、登り下り共に混雑してお互いに道を譲り合いながら、連なる渋滞を縫うようにして山頂に着く。山頂は多くの登山者で賑わっていた。風が冷たく寒かったが天気のわりに眺望は良く、ハケ岳、南アルプス、北アルプス、浅間山、里の景色など360度良く見えた。ひさびさの広い山頂、岩を移動しながら景色を楽しんでいたら予定外に時間をくってしまった。

ここから将軍平へ下り天祥寺原を経由して亀甲池を目指す。こちらのコースに入った途端、人影はなく山頂とは打って変わっての静けさ。この下りがとんでもない急坂の賽の河原で歩きにくく時間をくってしまった。下りの中間くらいで下から登ってきた男女2人「もう大変な道ですね!まだまだですか?」と憔悴しきった様子。「後、半分くらいかな?」と言ったら「え～、未だ半分!」と絶句。

やっとたどり着いた亀甲池はすっかり干上がっていて、水たまりくらいになっていた。そのうち消滅してしまうのかも。4～5年前に来たときはさざ波の中に岩が水から顔を出していたのだが。干上がった亀甲池の中をつつきり、苔むした樹林帯を抜け双子池へと向かう。雌池は満々と水をたたえ、始まりかけた紅葉の中にあつた。湖面をぐるりと囲む登山道脇にテント場が点在しており、土曜日ということもあって一杯だった。

何組かのパーティーが休憩中で、自分達も軽くおやつタイムをとり、双子山へと向かう。樹林帯を上り笹原の双子山をぬけ、大河原峠に下る。すでに下山予定時刻が迫っており、留守本部に後れを報告。ここから再度将軍平まで登り、七合目まで下りないといけない。大河原から将軍平までは意外と緩登で歩きやすく助かった。今日3度めの将軍平に到着。家族に遅れている旨のメールをしていると小屋の方から6時には暗くなるから早く行くようにとせかされた。ありがたい忠告、ありがとう!必死に七合目登山口を目指して下る。日暮れがせまってお焦りながらの急坂歩行。石ごろの道をひた下り17:40 やっと車にたどり着く。日没10分前。

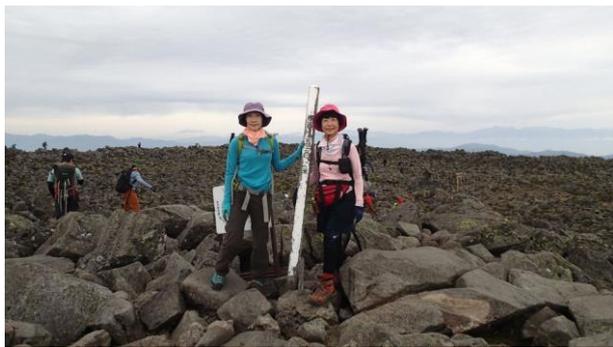
Kさんのスマホ33000歩! 先週の黒姫山36000歩。良く歩きました。

将軍平から1/3くらいの所で下山に苦戦している女性。男性が付き添っていたがあの2人組は日没になってしまうだろうと思いつつも、自分たちのことだけで精いっぱい。何も手助けせずに下りてきてしまった。先に下りて駐車場にいた30代くらいの男性が、2人のことが心配だと「これから見に行ってくる」と言って登山道に戻って行った。どういう方か分からないが「なんてボランティア精神に溢れた人なんだろう!!」ただただ感謝の人であった。あの2人組は一見して初心者と分かり、ヘッドランプも持っていないかも。無事に下りてくれるといいけど。

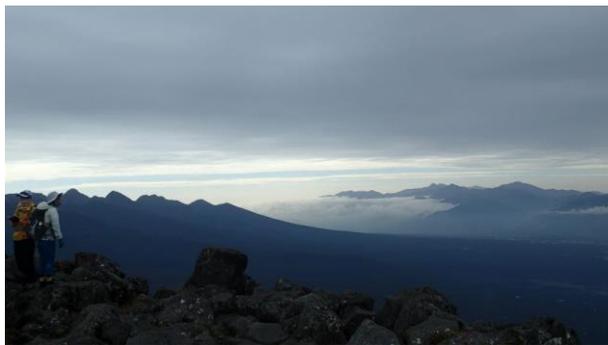
【コースタイム】

蓼科山七合目登山口 7:40 (発) ~8:55 将軍平 小休止 (出 9:10) ~9:50 蓼科山山頂 (出 10:20)
~10:45 将軍平 大休憩 (出 11:25) ~天祥寺原~13:10 亀甲池 (出 13:20) ~14:00 双子池 小休止
~ (出 14:15) ~14:45 双子山~15:10 大河原峠P (出 15:20) ~16:40 将軍平 (出 16:50)
~17:40 七合目登山口

蓼科山山頂



ハヶ岳と南アルプス



紅葉の向こうに浅間山



色づき始めた大岳と亀甲池



双子池 (雌池)

